はなそう

鹿妻住民 HANA荘

コミュニティーの場誕生

年中無休カフェオープン

オープンしたＨＡＮＡ荘＝石巻市鹿妻南

東日本大震災で被災した住民の憩いの場となるコミュニティーカフェ「ＨＡＮＡ荘（はなそう）」が29日、石巻市鹿妻南にオープンした。集会施設が少なくなっていただけに、多くの住民が駆け付け、オープンを喜んだ。施設は化粧品メーカー日本ロレアル（東京）が建設し、認定ＮＰＯ法人ＪＥＮ（東京）と、ＪＥＮが雇用した女性スタッフ7人が管理、運営。年中無休で開館時間は基本的に午前10時から午後4時まで。今後、夜間利用なども検討していく。

敷地330平方㍍に80平方㍍の鉄骨平屋を備えた。ハウス内にはテーブル、いすを配置したフローリングのスペース、10畳の和室、給湯室、トイレを設け、住民が集える場所を提供した。

オープンに際し、鹿妻第1、第2、第3の町内会と、明和町内会で運営管理委員会を組織。代表の斉藤昭次鹿妻第2町内会長は「立派な建物に感謝している。地域の活動拠点として積極的に利用したい」と話した。

開式で、同社のクラウス・ファスベンダー社長が「住民のコミュニケーションと、町の活性に役立ててほしい」とあいさつ。ＪＥＮ東北事業統括責任者の森信之理事も「町内会の皆さんと一緒に元気な町とコミュニティーづくりに努めたい」と意欲を示した。

鹿妻保育所の園児たちによる歌とダンスの披露に加え、メーキャップ講座、ハンドマッサージなどの記念イベントがあり、あちこちで住民の笑みがこぼれていた。

同社は、復興支援プログラムを立ち上げ、ボランティア活動を展開。今回は各種活動に尽力しているＪＥＮの趣旨に賛同して建設資金を提供した。

和室や給湯室、トイレも設置

東京の企業、ＮＰＯ法人 復興支援